

今週のビルマのニュース
2010年8月6日【1029号】

NDF 選挙参加に障壁 「民主党」議長は辞任

・選挙管理委員会は30日、国民民主勢力(NDF)の幹部4人に対し、過去に問われた反逆罪について赦免を求める申請をしなければ立候補を認めないと通告した。90年の総選挙で国民民主連盟(NLD)が議席の80%を獲得し、4人もNLDから当選した。しかし選挙結果を受けて軍政に代わる政府を樹立しようとしたことが反逆罪だとされ、禁固刑に服した。4人は対応を検討中(3日ミジマほか)。

・5月に連邦民主党(UDP)を結成したピョーミンテイン氏が5日、党の議長を辞任した。政党が自由な政治活動を許されないことや政治囚の解放が進まないことなどを理由に自身の総選挙への参加も取りやめた。氏は1988年の民主化蜂起に参加し政治囚として約15年間収容されていた(5日イラワディ)。

・防衛省のミンスエ中將が2日の国家安全保障定例会議で、12月に全国で警備を強化するよう指示を出したと、会合出席者がイラワディ誌に伝えた。このため総選挙が12月に実施されるのではないかとの見方が出ている(3日イラワディ)。

天然ガス開発関連の支払を開示する義務？

・米国で先月成立した金融規制改革法(ドッド・フランク法)の下、米証券取引委員会に登録する石油・鉱山企業は採掘の際に資源保有国政府等に対して行った支払いを公表しなければならない。この規定はビルマで天然ガス開発を行うシェブロンに適用される。ビルマで天然ガス開発を行うその他の企業への適用の有無は今後規定される細則による(31日イラワディ、同法本文)。日本からは日石ミャンマー石油開発(日本政府が50%出資)がイェタグン天然ガス田の権益を保有している。

フーコン谷全体がトラ保護区に

・野生生物保全協会(WCS)は3日、カチン州フーコン谷のトラ保護区が従来の約3倍の2万2,000平方キロに拡大されたと発表した。9月には絶滅の危機にあるトラの保護対策を話し合うトラ・サミットがロシアで開かれ、ビルマも参加する(5日AP)。

注目の報告書

・全米民主国際研究所(NDI)が報告書を発表。「総選挙の根拠となる2008年憲法は軍の支配継続を確保するための文書で、選挙プロセスも特定の結

果が出るように構築されていることは明らか。現状で国際機関がビルマに選挙監視団を送るのは『国際選挙監視の原則に関する宣言』にそぐわず、軍政の選挙プロセスを正当化することになる」と結論。“Burma’s 2010 Electoral Framework: Fundamentally Undemocratic,” National Democratic Institute, August 1, 2010: <http://www.ndi.org/node/16408>

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

新たな発表はなし

イベント情報

・民主化運動22周年記念デモ 在日ビルマ人共同行動実行委ほか(五反田南公園集合、8日14時～)

・第53回メコン談話室「軍事政権下のビルマに行く？行かない？～最新のビルマの写真をまじえて」(新宿・常圓寺、19日18時半～) ★要申込

・ドキュメンタリー『ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち』上映 ビルマの僧侶と連帯する仏教徒の会ほか主催(広島安佐北区、22日15時)

・日本ビルマ救援センター月例学習会 講師：宇田有三 「ウー・ウィンティンへのインタビュー」(大阪ボランティアセンター、26日19時～)

・ビルマの歴史学習会 講師：根本敬(上智大学教授) 主催：ビルマの歴史を学ぶ会(千代田区外神田・世橋区民会館4階和室、29日14時～)

・渋谷敦志写真展「明日があるから 国境に生きるビルマ難民は今」(川崎市アートセンター、28日～9月10日9時半～19時半。28日にトークショー)

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165